※令和４年度以降入学生用

学校番号	T1202

令和５年度　現代生活科

教科	現代生活	科目	点字入門	単位数	１単位	年次	2～4年次
使用教科書	わかりやすい点字事典						
副教材等	自主制作教材・プリント等						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

点字を習得する過程で視覚障がい者の日常を知り、どのような介助が適切なのかを考える。

2　学習の到達目標

(1)　視覚障がい者の文字である点字の基本的な性質を知り、読み書きが出来るようにする。
(2)　点字と普通文字との互換を通しコミュニケーションとしての点字の現代的意義を理解し、生活の中でどのような課題に直面し、それに対してどのような介助が適切なのかを考える。
(3)　視覚障がい者の日常における課題の解決に向けて、互いの個性を尊重しながら主体的・協働的に取り組むとともに、持続可能な社会の形成に参画しようとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	視覚障がい者の文字である点字の基本的な性質を知り、読み書きの理解を深めるとともに、コミュニケーションに必要な技能を身につけている。	点字を習得する過程で視覚障がい者の日常を知り、生活の中でどのような課題に直面し、それに対してどのような介助が適切なのかを考え、協働的に課題の解決策について表現することができる。	視覚障がい者の日常における課題の解決に向けて、互いの個性を尊重しながら主体的・協働的に取り組むとともに、持続可能な社会の形成に参画しようとする。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
4月／10	障がい種別障がい特性	障がいの種別と特性、コミュニケーション、社会生活について考える。	a: 障がいの種別と特性について理解を深めている b: コミュニケーションがどのようなものか考え、活用して適切に表現したり、伝えあうことができる。	レポート、筆記試験	実技試験	実技試験

※令和４年度以降入学生用

月			C:主体的、自律的にコミュニケーション、社会生活につい考えようとしている。			
５月／１１月	点字言語	点字の基礎理論について学ぶ。	a:点字の基礎理論について、理解を深めている。 b:点字の基礎理論について、活用して適切に表現することができる。 c: 主体的、自律的に点字の基礎理論につい考えようとしている。	レポート、筆記試験	実技試験	実技試験
６月／１２月	表現・領き	質問、応答の基本について学ぶ。	a:質問、応答の基本について、理解を深めている。 b:質問、応答の基本について、活用して適切に表現することができる。 c: 主体的、自律的に質問、応答につい考え、表現しようとしている	レポート、筆記試験	実技試験	実技試験
７月／1月	基本語彙	日常生活における基本的な語、文の読み取りと表現について学ぶ。	a: 基本的な語、文の読み取りについて理解を深めている b: 基本的な語、文の読み取りについて適切に表現できる c: 基本的な語、文の読み取りに主体的、自律的に取り組んでいる。	レポート、筆記試験	実技試験	実技試験
９月／2月	指文字	点字、指文字の表現と読み取りについて学ぶ。	a: 基本的な語、点字、指文字の表現と読み取りについて理解を深めている b: 点字、指文字の表現と読み取りについて適切に判断できる。 c:点字、指文字について主体的、自律的に取り組んでいる。	レポート、筆記試験	実技試験	実技試験

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度